

砂川市認知症ケア向上推進事業

第55回ケアスタッフ研修会

講演

認知症高齢者の医療上の意思決定支援

講師 **井藤 佳恵** 先生（東京都健康長寿医療センター 認知症医療推進センター長）

【ご略歴】

平成 5年	東京大学文学部フランス語フランス文学科卒業
平成 5年～6年	民間企業勤務
平成14年	東北大学医学部卒業，東北大学病院精神科入局
平成19年	東北大学病院精神科特任助手，緩和ケアチーム専任
平成20年	東北大学病院精神科助教，病棟医長
平成22年	東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究員
平成27年	都立松沢病院精神科医長
令和2年9月	東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター長

内容

～私がお伝えしたいこと～

「認知症はもの忘れの病気」というイメージがあります。でも、認知症の進行のなかで、身体の機能も少しずつ衰えていきます。転びやすくなって骨折をしたり、誤嚥性肺炎を繰り返したりしながら、少しずつ、食べる量が減ってきます。そうしてゆっくりと、終末期に向かってきます。

認知症医療は、人を看取る医療です。でも実際には、専門職のなかにそういう意識は十分にはなく、終末期の医療方針の決定をめぐるには多くの混乱があります。

認知症の終末期とはいつのことなのか、私たちは終末期を迎えた人にどのようにかかわることができるのか、考えてみたいと思います。

日時

2020年 **10月23日（金）** 18時00分～19時30分

定員

ZOOM100回線まで
（1回線で複数参加可能）

方法

zoom

リモート講演

締切

2020.10.21（水）または定員になり次第締切

お問い合わせ・お申込み

砂川市立病院 認知症疾患医療センター大辻

問い合わせ・申し込みはメールでお願いします。

ZOOMの事前準備等を追ってご返信します。

mail : seiji-psw@med.sunagawa.hokkaido.jp

※メールに件名「第55回ケアスタッフ研修会参加希望」書いていただき、氏名、所属、認知症ケア専門士単位希望の有無をお知らせください！